

就労移行支援事業所 チャレジョブセンター浦和 インフォメーション No.11

さいたま市指定障害福祉サービス事業所 指定事業所番号 1116508589 定員20名

◇ご利用相談はお気軽に下記まで◇

TEL:048-764-8497 Fax:048-764-8498 Mail : urawa@challe-job.co.jp

X'mas チャレジョブ浦和cafe

12月21日は浦和事業所で一日限りのお茶会を開きました。
といっても、トレーニング時間中は、みなさん通常通りそれぞれのプログラム
に取り組まれ、休憩時間やお休み時間のコーヒブレイクとなりました。

夕方には、トレーニングが終わった利用者さん
同士で、好きなゲームのことなど楽しくおしゃ
べりをしてすごされました。

個別のプログラム中心なので、普段はいくつか
のセミナーの時のグループでの活動となるため、
こうした機会を設けてみなさんと楽しいひと時を
すごせたうれしい時間でした。

当日は卒業生さんも仕事帰りによってくださいました。
お休みの方にはもちろん25日にささやかなお菓子とコーヒのプレゼントを
お渡しいたしました。皆様にとって来年が良い年になりますように。



2018.12.21fri 一日限りの
チャレジョブ浦和cafe

=★ 卒業生interview ★=

浦和事業所から就職されたAさんに就労移行支援の利用や就活中に考えていたこと、感じたことなどを伺いました。ご本人の了承を得てご紹介致します。

Aさんは、親族や友人から「今、何してるの？」と聞かれると「恥ずかしいな」と思うと同時に「そろそろ何かしなきゃ」と思い、チャレジョブに通所を決めました。お仕事について、自分は人と接することなく黙々とやる仕事に合っていると思い、ハローワークでもそういったお仕事を求めました。チャレジョブに通所して、そういう作業のある企業実習にも参加しました。当初の希望通り1日中ずっと黙々と作業し、求められる数をこなし、実習期間が終わるころには「できる」と自信にもなりましたが「同じ事を1日中ずっと・・・本当に大丈夫だろうか」とも思いました。ある日、チャレジョブ企画で他業種の企業見学に参加したところ、「もっと違う世界があるのではないか」自分が想像していた厳しくノルマが求められるというイメージでないところもあるのだ」というカルチャーショックを受けました。

そこからAさんは、希望の選択肢を広げるためにも、最初苦手感のあったPC関連のプログラムにも積極的に取り組むようになりました。PC操作に慣れるにつれ、Aさんは高い正確性と丁寧さをお持ちであることが分かり、またタイピングスキルもご自分で成果を追及するようになりました。体調によって、セミナーの受講が辛いなと思うこともありましたが、毎日通うことが大事だと思っていました。また「これ以上頑張ったら無理するから休もう」というラインが分かった」といい、それは就職後の生活管理上も役に立っています。

これから社会に出る道を模索しているみなさんに一言。
「最初は何事も不安だと思うけれど、自分ががんばった分だけ成果はついてくるのでとりあえずがんばりましょう」

最後に、チャレジョブ通所を決めた頃のご自分に「あせらないで！」といてあげたいとおっしゃっていました。これからも応援しています！

「障がい者求人NAVI」サービス <https://www.shougai-job-navi.com/>